

災害用設備を浜松市のお寺に設置させていただきました！

新たに導入したLPガス  
スタンクの機能について  
説明を受ける左右田  
住職（右）＝浜松市中  
区の瑞生寺

## 災害時 寺を避難所に



### 中区の瑞生寺

### 被災地支援体験 きっかけ

浜松市中区東伊場の瑞生寺がこのほど、災害時に役立てようと境内に、LPガススタンクや炊き出し設備を導入した。東日本大震災の際にボランティアで現地を訪れたことがある左右田泰丈住職(54)が避難所としての寺の役割を考え、防災設備の充実を図っている。

容量300kgのタンク エネジン(中区)に相談は約5日間継続して使用し、小型発電機や暖房機できる。企業などの事業 も一緒に取り入れた。継続計画(BCP)を支 左右田住職は2011年8月に震災で被害を受

けた宮城県気仙沼市を支援ボランティアで訪れた。津波でなぎ倒された建物のがれきが散乱する街を見て「被害の大きさに言葉を失った」と振り返る。気仙沼市の同じ宗派の寺院では地震の発生直後、多くの人が助けを求めに来て避難所として開放したとの体験談を聞いた。

被災地訪問をきっかけに、寺の瓦屋根の倒壊対策や公道と接していたブロック塀の撤去など、備えを進めている。左右田住職は「災害時に頼られた際、期待に応えられるようにしたい」と語り、支援ボランティアや帰宅困難者のよりどころを目指している。

(浜松総局・柿田史雄)

炊き出し設備やガススタンク導入…

当社ではガスを貯槽する災害用バルク等をセットにした災害用パッケージの販売を開始。先日浜松市の瑞生寺様に設置させていただきました！

パッケージ内容は300Kgバルク、炊き出し用のコンロやガス発電機、暖房機となっております。

今回、瑞生寺様は災害時に地域の人を受け入れられる環境を整備しておきたい、とのことで導入していただいております。

いざという時に、お客様を守る体制を作るお手伝いが出来れば私たちもうれしいです。

今後も地域の皆様のお役立ちできるような取り組みをしていきます。

令和3年(2021年)2月26日(金)

静岡新聞掲載